

大音生活にもっと“キラリ”を♪

MUSEE

10 Vol.251
October
2019



人、街、社会をつなぐ もっと感じる！ 音楽のチカラ

今年11月から始まる
阪急宝塚線ミュージック駅伝 MOT!
音楽で人と社会をつなぐ
イベントの最前線に迫ります。

MUSEE | October 2019
Vol.251

もっと感じる！音楽のチカラ

学校法人大阪音楽大学短期大学部 MUSEE Vol.251 2019年10月15日発行 <https://daion.ac.jp>
発行：学校法人大阪音楽大学 〒561-8555 豊中市住吉南町1-1-9 TEL:06-6334-2704 FAX:06-6334-2141
制作：編集：広瀬理 muse@daion.ac.jp 制作協力：印刷：(株)高瀬デザイン

大阪音楽大学

CONCERT SCHEDULE

演奏会やオペラなど、大音関連のイベント。

大阪音楽大学主催公演

大阪音楽大学コンサート・センター
TEL:06-6334-2242

開催日時・出演者が変更になる
可能性があります

第55回オペラ公演

「カプレーティとモンテッキ」
【全2幕 原語(イタリア語)上演・字幕付】
11/1(金) 14:00～、11/3(日祝) 14:00～
●演出:岩田達宗、指揮:牧村邦彦、管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、合唱団:大阪音楽大学合唱団 ●OH ●一般7000円、シルバ6000円、小・中・高校生3000円(全指定席) ※詳細は13ページをご覧ください。

第63回ミレニアム・スチューデント・コンサート

第1夜:11/7(木)、第2夜:11/13(木)、第3夜:11/14(木) いずれも18:00～ ●オーディション選抜学生によるコンサート ●MH ●無料(要整理券)

第31回ザ・コンチェルト・コンサート

11/8(金) 18:00～ ●選抜学生による協奏曲演奏会、指揮:瀬山智博、管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 ●OH ●1000円(全自由席)

大阪音楽大学 大学院定期演奏会2019

11/11(月) 18:00～ ●大阪音楽大学 大学院生による演奏会 ●OH ●1000円(全自由席)

第42回邦楽演奏会

11/15(金) 18:30～ ●大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 邦楽専攻・コース生 他 ●常翔ホール ●1000円(全自由席)

Daion 吹奏楽フェスティバル2019 吹奏楽の饗宴

11/17(日) 14:00～ ●出演校 尼崎市立尼崎双星高等学校、大阪府立市岡高等学校、神戸市立六甲アイランド高等学校、滝川第二高等学校、箕面自由学園高等学校、早稲田摂陵高等学校 ●OH ●無料(要整理券)

第6回ミレニアムピアノコンサート

11/19(火) 17:15～ ●鳥居知行、木村直美 ●MH ●無料

大阪音楽大学 第62回定期演奏会

12/6(金) 19:00～ ●指揮:飯森範親、管弦楽:大阪音楽大学管弦楽

団 ●ザ・シンフォニーホール ●一般3000円、小・中・高校生1000円(全指定席)

第7回ミレニアムピアノコンサート

12/18(水) 17:15～ ●赤松林太郎、岸本雅美、西本由香 ●MH ●無料

大阪音楽大学後援演奏会

第10回茨木新作音楽展

10/19(土)、10/20(日) 両日16:00～ ●松浦伸吾、楠井淳子、南川弥生、渡辺さとみ、森川陽子、八田京子、岡田正昭、駒井肇、中澤道子、熊谷美紀、大澤弘之の作品演奏会 ●茨木市民総合センター(クリエイトセンター) ●2500円 ●☎090-3914-3560(駒井肇)

木村綾子ピアノリサイタル

～平成から令和へ 変奏曲の夕べ～
10/23(水) 19:00～ ●豊中市立文化芸術センター 小ホール ●1000円 ●musik@kimuraayako.com(木村綾子)

増井一友ギターコンサートVol.28

10/23(水) 19:00～ ●西宮市甲東ホール ●1000円 ●☎050-3497-0294(夙川ギター倶楽部)

油井美加子ピアノリサイタル

10/30(水) 19:00～ ●兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール ●3000円 ●☎06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

大阪音楽大学中村真美門下生有志によるクラリネットアンサンブルコンサートvol.18

11/9(土) 16:00～ ●2019年度中村真美門下現役生有志 ●MH ●無料

王の舞曲Ⅷ

ドイツ・フランスのバロック舞曲
～ビエール・ド・ドレ氏を迎えて～
11/21(日) 19:00～ ●バロックダンス:樋口裕子、宮口加奈、ヴィオラ・ダ・ガンバ:中西歩、チェンバロ:吉竹百合子 ●豊中市立文化芸術センター 小ホール ●一般4000円(当日+500円)、ペア券7500円(前売りのみ)、学生券2000円(前売りのみ) ●☎080-6213-5610(コートダンス・アンサンブル)

Flute ensemble 琳 Autumn concert

11/23(土祝) 15:00～ ●Fl:中島優子、

西平真琳、平勢夏海、Pf:白藤望 ●ヒビキミュージックサロンリヴズ ●一般2000円、学生1000円(当日各+500円) ●flute_ensemble_riv@yahoo.co.jp(フルートアンサンブル琳)

第49回打楽器オーケストラ演奏会

12/15(日) 14:00～ ●大阪音楽大学打楽器専攻生 ●OH ●500円 ●daion_per@yahoo.co.jp(河野絵里花)

第30回大阪音楽大学クラリネットオーケストラ演奏会

12/17(火) 19:00～ ●大阪音楽大学クラリネット専攻生 ●いづみホール ●一般1200円(当日+300円)、学生1000円 ●clarinetorchestraosaka@yahoo.co.jp(青木美里亜)

25年目の春へ～チャリティコンサート

1/17(金) 19:00～ ●Vn:木田雅子、Pf:河内仁志、アンサンブル・プリマヴェーラ ●神戸市立灘区民ホール(マリナーホール) ●3000円(当日+500円) ●masako.k-39@ezweb.ne.jp(木田雅子)

幸楽会後援演奏会

Cerchio di canti

世界名歌を訪ねて
10/29(火) 18:30～ ●泉功子、井村美代子、小餅谷哲男、小山雄司、湯浅富士郎、他 ●兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール ●3000円(全自由席) ●☎072-956-3421(Cerchio di canti)

AMUSÉR 17th concert

11/2(土) 16:00～ ●佐伯郁香、峠ひろみ、武田絵梨佳、佐々木忍、白井翠、生駒温、他 ●ドルチェ・アーティスト・サロン ●1500円 ●☎06-6377-1117(株式会社ドルチェ楽器)

50人の作曲家による《ディアベリ変奏曲》

11/8(金) 18:00～ ●青山一郎、秋山里菜、乾将万、黒岩航紀、田代彩、塚本美香、水谷知夏、水谷友彦、森下真衣 ●茨木市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール ●1500円(当日+400円) 全自由席 ●http://www.inui-piano.com/(INUI MUSIC SALONのHP「お問い合わせ」にて受付)

みんなの秋のコンサート

11/10(日) 午前の部10:30～、午後の部15:00～ ●北島都也、佐藤千賀、中川真由美、原祐子、小山絵梨、杉下純子、戸田恵、真木玉子 ●滋賀県立文化産業交流センター 小劇場 ●500円(全自由席/膝上無料) ●☎090-7116-0466(小山)

妖精ウィリアムズ/スズナノ秘密

11/13(水) 18:30～ ●荒尾公美子、森井美貴、黒田まさき、水口健次 ●豊中市立文化芸術センター 小ホール ●4000円(当日+500円/全自由席) ●villusanna@gmail.com(お問い合わせ)

津田衣利子サクソフォンコンサート

11/15(金) 19:00～ ●Sax:津田衣利子、Pf:沖永沙織 ●イーグレひめじ アートホール ●一般2000円、学生1000円(当日各+500円) ●erikotsuda2@gmail.com(津田)

箏・歌・サクソフォン・ピアノによるJOINT CONCERT

姫路公演:11/17(日) 15:00～、大阪公演:12/1(日) 15:00～ ●箏:橋本桂子、歌:日隈葉子、Sax:藤田麻緒、Pf:乾将万 ●姫路:南風会サロン、大阪:ムラタマンション豊南橋サロン ●1500円(当日+500円)、学生1000円 ●http://www.inui-piano.com/(INUI MUSIC SALONのHP「お問い合わせ」にて受付)

ミ・ベモル サクソフォンアンサンブル 創立30周年記念 第35回定期演奏会

12/8(日) 14:00～ ●いづみホール ●A席4000円、B席3000円、C席2500円(当日各+500円/全指定席)、学生2000円、A席ペア7000円(学生・A席ペアはミ・ベモルチケットセンター限定) ●http://www.mi-bemol.com/ticket_center.html(ミ・ベモルチケットセンター)

college de JOUJOU piano concert vol.19

Christmas Concert
12/15(日) 14:00～ ●青木千恵子、飯野有加里、上田舞、上村雅美、大橋希美、他 ●兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール ●2000円、小学生以下1000円 ●joujou2000@hotmail.co.jp(ジュジュの会)

OH:ザ・カレッジ・オペラハウス MH:ミレニアムホール ※必ず主催者発表のものと同照合してご確認ください。

次号は2020年1月15日発行予定です。

MUSEEの住所・氏名変更の手続きについて ▶変更前と変更後の住所や氏名(よみがな)を大学へお知らせください。メール(muse@daion.ac.jp)かFAX(06-6334-2141)で受け付けております。 ※郵便局の転送サービスは期間が終了すると配達されなくなります。

右記のSNS配信サービスでも大音情報をチェックできます。



最新情報を配信中!

公式FB @occm_l daion_insta

Q

学生リーダーってどういう仕事？
植田さんの役割は？

A 今年の学生リーダーは私と坂井威文さんの2人。専攻内に設置されているMOTI事務局で坂井さんは企画立案を担い、最前線で指示を出しながらメンバーを引っ張っていくディレクターのような立場。私は坂井さんを事務的にサポートする立場として、外部のホールの方との連絡や実行委員会の日程調整などの仕事を担っています。事務局はCo専攻の3・4年生で構成されており、来年以降も引き続き学生リーダーがプロジェクト全体を統括していくことになります。

Q

学生リーダーとして
心掛けていたことは？

A MOTIはこれまでにない大規模で、学外の多くの関係者と接するイベント。メールの文言ひとつで「大音」に対する印象を左右することにもなります。学生という立場に甘えることなく、常に「大音の代表」という緊張感、責任感を持って臨んでいます。Co専攻は上下関係が緩やかで、一人ひとりの個性や強みを生かし合うところが魅力だと感じますが、こうした学外の方と対応する際の意識は後輩にも引き継ぎなければならぬ部分だと考えています。

Q

学業や就活と両立させるために
意識したことは？

A 上級生だからといって仕事を抱え込むのではなく「頼めることは頼む、自分しかできないことは自分でやる」ということ。MOTIは3・4年生がチームで対応しているので、誰かが抜けても誰かがカバーできることが強み。そのためには、どんなにささいな情報でも日ごろからメンバー全員で共有しておくことが大事になります。私は教育実習のために企画の進行から3週間離れましたが、事前にしっかり引き継ぎをしていたこともあり、後輩に任せきりでも問題なく進行していました。

阪急宝塚線
ミュージック駅伝MOTI!
学生リーダーに
聞きました

植田唯莉 [大4]

Q

MOTI!ではCo専攻での
どのような学びが生かされましたか？

A 専攻名にもなっている通り「コミュニケーション」のスキルです。打ち合わせ、メール、演奏依頼——人と人が関わる場にはすべてコミュニケーションが生まれます。これまで数多くのイベントを手掛ける中で、メールの送り方や文面の言葉づかい、人との話し方などを学んできましたが、今回のMOTIでは今までと比べてスムーズに進行していると感じます。このスキルはMOTIだけでなく、社会に出てからも必須になるもの。この専攻に来てよかったと感じることの一つです。

Q

2020年の本イベントを担う
後輩たちにメッセージは？

A 来年のMOTIは日本博*とも連動する、専攻始まって以来のビッグイベントになります。特に4年生にとっては就活、卒論と同時進行で大変な時期を過ごすことになると思います。さまざまなプロジェクトが進行する中で本意ではない役割を求められることもあると思いますが、そこで学ぶことや発揮する力は卒業後に必ず役立つものになります。最後までめげずに頑張ってください。後輩たちの活躍と、日本博の成功を楽しみにしています。

*日本の文化芸術の多様かつ普遍的な魅力を発信するため、2020年東京オリンピック・パラリンピックに合わせ、日本全国を舞台に展開するプロジェクト。

Q

「阪急宝塚線ミュージック駅伝
MOTI!(以下、MOTI!)」って
どんなイベントですか？

A 阪急宝塚線沿線には個性的な特色を持ったコンサートホールが点在し、著名なアーティストの演奏会から地域に暮らす人々の発表会まで、多様な音楽の場が生まれています。MOTIはそれらのホールや大学、関連する施設を共通のテーマで結び、音楽を軸とした地域の新しい魅力創出を目指すもの。実行委員会事務局はミュージックコミュニケーション専攻(以下、Co専攻)内に設置され、私たちCo専攻の3・4年生が中心となって運営していることも特徴の一つです。2020年度の本格実施に向けて今年はプレイヤーと位置づけ、MOTIの周知に力を入れています。沿線の7つのホールが参加し、「阪急電車と音楽」をテーマに阪急電車の歴史や宝塚線周辺にちなんだ楽曲演奏、近隣のカフェや公共スペースでのミニコンサートなど、多様な音楽イベントを開催する予定です。

Q

「MOTI!」や「駅伝」といった
ネーミングに込められた意味は？

A MOTIは「Music On Trains」の頭文字であり、阪急宝塚線が結ぶ「箕面(M)」[大阪(O)]「宝塚(T)」の頭文字でもあります。「もっと!沿線の音楽文化を豊かに」「もっと!劇場へ足を運んでもらえるように」「もっと!劇場のつながりを作りたい」といった思いも込めています。また、日本発祥の「駅伝」は鉄道をイメージさせると同時に、「EKIDEN」として世界でも通じる言葉です。コンサートをタスクでつないでいくMOTIのイメージにもピッタリだと考えました。

Q

今年のイベントの
見どころは？

A 7つのホールが1つのテーマで連携し、コンサートを開催するイベントは、これまでにない画期的なものになると感じています。また、フリンジイベントは企画から会場との折衝、当日の運営まで学生が主体になって開催します。今までホールで音楽を聴くことになじみがなかった方にも音楽に親しんでいただけるよう、会場選びや企画内容に工夫を凝らしていますので、気軽に足を運んでいただけたら幸いです。
※イベントの詳細は10-11ページ参照

Q

2020年の本イベントを担う
後輩たちにつなごう「思い」は？

A 私たちCo専攻1期生はどんな企画もゼロから作り上げていく中で培われた「エネルギー」が強みだと思っています。そのエネルギーを後輩たちにも引き継いでもらいたいです。本イベントを開催する2020年はオリンピックイヤー。MOTIも外に向かうエネルギーをさらに大きなものにして、今年よりもっと面白いもの、もっと新しいものを作ってほしいです。

阪急宝塚線
ミュージック駅伝MOTI!
学生リーダーに
聞きました

坂井威文 [大4]

「阪急宝塚線ミュージック駅伝MOTI!」は、阪急宝塚線沿線のホールや近隣のさまざまなスペースを音楽でつなぐ催しです。2020年の本格実施に向けたイベントとなる今年は「阪急電車と音楽」をテーマとして、期間中、音楽に触れるたくさんの場を用意します。



関西学院グリークラブ

120年続く日本最古の男声合唱団

1899(明治32)年から120年間にわたり活動を継続している、日本で最も古い歴史を持つ男声合唱団。音楽家の山田耕筰、林雄一郎など多くの著名な人材を輩出し、コンクールにおいては2010年度から9年連続金賞受賞、部門最優秀賞を4回受賞するなど、常に日本の合唱界をリードし続けてきた。代々受け継がれてきた「メンタルハーモニー」をクラブモットーとして掲げ、メンバー一人一人の精神的調和を目指すことで生まれる独自のハーモニー「関学トーン」は、多くの人々から愛されている。



本山先生には定期演奏会の客演指揮を委嘱しており、2か月に一度程度合唱の指導もいただいています。重厚になりがちな男声合唱ですが、息の使い方や発音を指導していただくことで「明るく美しい響き」が生まれることを実感しています。音楽を専門に学んでいる方々と共演するのは120年を数える部の歴史の中でも数少ない経験です。このドリームコーラスコンサートを通じて、お互いに学び合い、成長できることを楽しみにしています。私たちの部が掲げる「メンタルハーモニー」と、踊り付きの「パーパーショップスタイル」。関西学院グリークラブの魅力がたっぷり詰まったステージを耳と目でお楽しみください。(写真左から、徳島さん、石川さん、林さん)

本山先生には定期演奏会の客演指揮を委嘱しており、2か月に一度程度合唱の指導もいただいています。重厚になりがちな男声合唱ですが、息の使い方や発音を指導していただくことで「明るく美しい響き」が生まれることを実感しています。音楽を専門に学んでいる方々と共演するのは120年を数える部の歴史の中でも数少ない経験です。このドリームコーラスコンサートを通じて、お互いに学び合い、成長できることを楽しみにしています。私たちの部が掲げる「メンタルハーモニー」と、踊り付きの「パーパーショップスタイル」。関西学院グリークラブの魅力がたっぷり詰まったステージを耳と目でお楽しみください。(写真左から、徳島さん、石川さん、林さん)

11月30日開催 関西の“名門”による奇跡のコラボが実現!

ドリームコーラスコンサート

関西学院グリークラブ、宝塚音楽学校、大阪音楽大学。
関西を代表するグループが一堂に会する夢のコンサートが開催されます。



本山先生の合唱指導では「言葉ひとつひとつを粒立てて相手に伝えること」を教えていただき、響きやハーモニーといった従来の合唱の枠を超えた新しい世界を知ることができたように思います。ドリームコーラスコンサートは、本格的に音楽や合唱を学ばれている同世代の皆さんと同じ舞台上で立つことが楽しみ。刺激や学びをたくさん吸収したいと思っています。宝塚歌劇の舞台が放つエネルギーや感動、華やかな世界に私たちが憧れたように、ドリームコーラスコンサートでも、舞台上立つ106期39人がひとつになった時に出てくるエネルギーや一体感を見ていただきたいです。(写真左から、本科106期の坂本さん、平野さん、園福寺さん、堀部さん)



大阪音楽大学 合唱団・管弦楽団

関西唯一の音楽単科大学

大阪音楽大学合唱団は、声楽専攻の学生を中心に編成。多様な楽曲演奏を通して培われる「音楽体験」は、大音の大きな教育特色でもあり、関西の音楽界、音楽教育を支える原動力ともなっている。大阪音楽大学管弦楽団は、管弦打楽器専攻の学生を中心に編成。宮本政雄(元本学名誉教授)が築いた礎のもと現在にいたるまで、日本の音楽文化発展に貢献した朝比奈隆(元本学名誉教授)らの指導により啓発された音楽への情熱が継承されている。



合唱は特に耳を使って音程や音色、和音の響きなど全体を聴きながら歌うことが大切だと本山先生から指導されています。専攻で学ぶ独唱のレッスンとの違いはありますが、歌唱に対する視野の広がりを実感しています。今回のコンサートはこれまで交流がなかった学校と共演できる貴重な機会。歌唱技術などしっかり学び、音楽に対する考え

方なども話せたいと思います。私たちはリズムカナルな曲から、スローテンポな曲までさまざまな曲を歌います。日本語とは違った原語の美しさ、混声合唱のアンサンブル、ソロとのかげあいなどに注目して聴いてほしいです!(写真左から、新田さん、辻本さん、栗津さん。いずれも声楽専攻・大3)



宝塚音楽学校

受け継がれる「清く 正しく 美しく」

阪急東宝グループの創始者である小林一三によって創設された宝塚歌劇の出演者を養成するための学校。1913(大正2)年7月に「宝塚唱歌隊」として発足し、1919(大正8)年1月には「宝塚音楽歌劇学校」として正式な学校組織となり、4,600人を超える卒業生を宝塚歌劇の華やかな夢の舞台へ送り出してきた。予科・本科の2年間、小林一三が提唱した校訓「清く 正しく 美しく」の教えに基づき、芸能の基本はもちろんのこと、社会人として求められる教養や礼儀作法も学んでいる。

大 音主催のイベントの目玉企画が11月30日にザ・カレッジ・オペラハウスで開催される「ドリームコーラスコンサート」。関西学院グリークラブ、宝塚音楽学校(106期本科生)、そして大音・関西を代表する音楽の名門がコラボする、まさに夢のコンサートです。

本山秀毅学長が各団体で合唱を指導している縁から実現したこのコンサート。「いずれの団体も100年を超える歴史を持つグループ。宝塚歌劇や中等野球発祥の地といった、音楽やスポーツが盛んな宝塚線沿線で、関西の音楽文化を代表するグループが一堂に会することにこのコンサートの価値がある」「宝塚音楽学校が外部の催しに出演することは他団体と合同の舞台上立つことは極めてまれなこと。奇跡の「コンサート」を華やかに盛り上げたい」と本山学長は話します。

プログラムは関西学院グリークラブの男声合唱、宝塚音楽学校の女声合唱、大音はオーケストラ付きの混声合唱を披露。プログラムの最後には3団体による「三つまたえ」(鉄腕アトム)の合同演奏も用意されています。関西唯一のハーモニーが集うステージをお楽しみください。



手塚治虫記念館

矢野 喬士さん

クラシック音楽を好んだことで知られる手塚治虫は、マンガや音楽、映画など、良いモノ、新しいモノは何でも取り込んでいった人でもありました。ジャズを切り口にした今回の企画は私たちにとても新鮮。どのようなアレンジになるのか楽しみにしています。

前田さん、大塚さんが手掛けるイベント

OSAMUSHI JAZZ

手塚治虫の誕生日である11月3日、手塚治虫記念館のエントランスで開催するコンサート。大音のジャズ専攻、ジャズ・コースの学生デュオが「鉄腕アトム」や「リボンの騎士」など、手塚治虫作品の主題歌をアレンジして演奏します。

自分に足りない部分を
学ぶ絶好の機会

大塚 双葉 [大3]



ア ニメ好きということもあり、会場は絶対に手塚治虫記念館と考えていました」と話す前田さん。手塚治虫の生まれた1920年ごろはジャズをはじめとする西洋文化が関西に入ってきた時期と重なる——2年時の「関西音楽文化史演習」で学んだ知識が今回の企画の着想につながりました。

共々高校までは演奏する側でしたが「違う視点から音楽を学び、イベントを作る側になりたい」と入学したCo専攻。「演奏はしなくてもいろいろな面で音楽に触れる毎日が楽しい」と話す表情には充実感がみなぎっています。

11月3日開催

「OSAMUSHI JAZZ」

講義で学んだ
知識から企画を着想

前田 瞳 [大4]



打ち合わせは緊張することも多いが「緊張は精いっぱい結果を出そうとする真摯な姿勢の表れ。フレッシュな学生さんと一緒に仕事ができて光栄です」と話す矢野さん。

11月21日開催

「胎教コンサート in 中山寺」

お客さんだけでなく、自分たちも
楽しめるイベントにしたい

田中 逸斗 [大4]



気軽に音楽とふれあえる場を作る

FRINGE イベント 進行中!

企画から当日の進行まで、すべてCo専攻の学生が主体となって実施するFRINGE企画。本番に向け、準備にも熱がこもる現場におじゃましました。



賑やかな雰囲気の中で行われる打ち合わせは緊張の連続だが「Co専攻で培った、外部の方と折衝しながら企画をまとめていく力が今生きています」と感じます」と田中さん。

田中さんが手掛けるイベント

胎教コンサート in 中山寺

安産祈願で有名な中山寺を舞台にした、大音の在生によるコンサート。モーツァルトの作品から選曲し、曲間には解説も入れるなど、クラシックに親しみがない方でも気軽に楽しめる工夫を凝らしています。



中山寺 石堂 恵遼さん

私は学生時代に自分たちの手で何かを成し遂げたという経験がないので、企画と向き合う大音の学生さんをカッコいいなと思うと同時にうらやましくも思っています。普段は寺と縁のない方が足を運んでいただける機会になれば、と胎教コンサートの成功に期待しています。

阪 急宝塚線沿線には中山寺や清荒神、売布神社など寺社が多く点在しています。一見、接点のなさそうな「寺社」と「音楽」を結びつけると面白いのではないかと考え、古くから日本随一の「安産祈願」の霊場として知られる中山寺での胎教コンサートを企画しました。

今回のMOTIではFRINGE企画全体の統括も担当しています。数多くの企画とそれに携わる学生たちとの打ち合わせや調整は大変なこともあります。ただ、直接顔を見てコミュニケーションを取り、風通しのいい雰囲気づくりを心掛けています。

#中山寺

安産祈願で有名なお寺。参拝客に見守られながら、僧侶の皆さんにご協力いただきました。



#花のみち

阪急宝塚駅から宝塚大劇場へ延びる小径。大劇場の前には阪急電鉄創業者・小林一三の像も。



#川西市みつなかホール



川西能勢口駅から徒歩5分の好立地。すぐそばを走る阪急電車をホワイエから見ることができます。



#池田市民文化会館 アゼリアホール



池田市の花「つつじ(アゼリア)」を描いたステンドグラスなど、ロビーのアート作品も見どころです。

PVは
11月1日から
YouTubeで
公開予定

PV「箕面有馬電車唱歌 令和元年ver.」はMOTIのスタートに合わせて11月1日からYouTube*で公開予定。MOTIのイベントにお越しの際は、ぜひPVもご覧いただき沿線の風景も併せてお楽しみください。
*YouTubeにはMOTIのHP(URLは11ページ参照)からアクセスできます。

「阪急宝塚線は地域に密着していることが魅力。ご覧になった方が「こういう場所があるのか」と感じ、実際に足を運んでいただけたらうれしいです」と坂井さんは期待を寄せます。

東風ふく春に魁けて 開く梅田の東口 往来う汽車を下に見て 北野に渡る跨線橋
業平塚や萩の寺 新淀川の春の風 十三堤の野遊びに 摘むやたんぽぽ五形花



フリンジ企画「箕面有馬電車唱歌 令和元年 ver.」

MINOH-ARIMA
TRAIN SONG

100年の時を越え、開通時の唱歌をプロモーションビデオ(PV)でリメイク



#阪急宝塚駅

駅前の「宝塚ゆめ広場」に「タカラヅカレビュー」のモニュメントが設置されるなど、駅を一步出ただけで「歌劇のまち」を実感できる場所。



#あいあいパーク

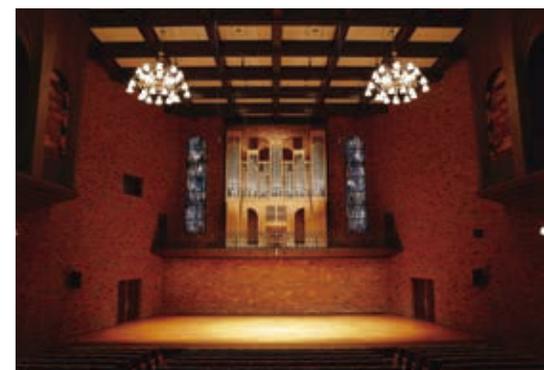
「四季ももくさの花畑」と歌われる風景が広がる地域。スタッフの皆さんにも登場いただきました。

#清荒神清澄寺



火の神・台所の神で有名なお寺。門前の緩やかな坂道に並ぶ屋台に風情を感じる寺院。PVが無事に完成することを祈願。

#宝塚市立文化施設 ベガ・ホール



響きの良さに定評があるホール。入口に立つヨハン・シュトラウス2世の像はウィーン市から寄贈されたもの。

企画「箕面有馬電車唱歌 令和元年 ver.」。企画した坂井威文さんは「歌詞に描かれている箕面の滝や神社といった風景は、100年以上たった今もほとんど変わっていません。この曲を復元することで、今に通じる文化や風景の豊かさを再認識できるのではないかと考えています」と話します。

15番まである歌詞に出てくる風景を映像に収めるためにリストアップしたロケ地は約50カ所。施設や神社など撮影許可が必要なスポットには坂井さんが自ら交渉。映像収録・編集は池森庸祐さん(映像編集室)、曲のアレンジは横田晃希さん(ミュージッククリエイション専攻・大4)にご協力いただくなど、大音の総力を結集したPVとなっています。

「阪急宝塚線は地域に密着していることが魅力。ご覧になった方が「こういう場所があるのか」と感じ、実際に足を運んでいただけたらうれしいです」と坂井さんは期待を寄せます。

東風ふく春に魁けて——
という歌詞で始まる「箕面有馬電車唱歌」。阪急宝塚線(当時は箕面有馬電気軌道)が開通した1910(明治43)年に作られた唱歌で、梅田駅を出発して箕面・宝塚までの沿線の風景を覚えやすいメロディーで歌い込んだものです。現在では知る人ぞ知る存在となったこの曲を現代版にリメイクし、PVを制作するのがフリンジ



屏かしのいい画が
撮れるからいい画が
ガンバリます!!



MOT!の公演・イベントのお問い合わせ先などの詳細は、必ずHPをご確認ください。

<https://www.music-ekiden.jp/>



◎公演一覧

令和元年度生涯学習講座《身近なホールのクラシック》 大大阪時代の朝比奈隆	箕面市立西南 生涯学習センター ホール	11月1日(金)、11月22日(金) 12月13日(金) 各回19:00開演
ヨーゼフ・ラスカ 音の架け橋 ～日本・オーストリア友好150周年記念～	宝塚市立文化施設ベガ・ホール	11月7日(休) 19:00開演
《身近なホールのクラシック》 石橋栄実クラス生“音楽”によるヴォーカル・コンサート	箕面市立西南 生涯学習センター ホール	11月8日(金) 19:00開演
Lobby Concert vol.26	大阪工業大学梅田キャンパス OIT梅田タワー1階ロビー	11月9日(土) 12:00開演
第32回ホルンアンサンブルの夕べ「朝比奈隆とブルックナー」	ザ・カレッジ・オペラハウス	11月9日(土) 18:30開演
ロビーコンサート イン みつなか	川西市みつなかホール	11月17日(日) 19:00開演
第35回ユーフォonium・チューバアンサンブルコンサート 「阪急電車と同年の名曲」	ザ・カレッジ・オペラハウス	11月26日(火) 18:45開演
関西学院グリークラブ、宝塚音楽学校、大阪音楽大学 「ドリームコーラスコンサート」	ザ・カレッジ・オペラハウス	11月30日(土) 18:00開演
ロビーコンサート(大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専 攻プロデュース公演)阪急電車の行く道(宝塚線編)	豊中市立文化芸術センター 多目的室	12月4日(木) 19:00開演
第34回大阪音楽大学サクソフォンオーケストラコンサート 「手塚治虫が愛したブラームス」	ザ・カレッジ・オペラハウス	12月8日(日) 14:00開演
第30回 足立衛&アゼリアジャズオーケストラ コンサート ～タカラジェンヌも愛した名曲たち～	池田市民文化会館 アゼリアホール	12月15日(日) 14:00開演

◎フリンジイベント一覧

豊中スポーツ魂～ギネス世界記録に挑戦～ (イベント内での演奏)	豊島公園野球場(豊中ローズ球場)	10月26日(土) ※時間未定
箕面有馬電車唱歌 令和元年 ver.	阪急宝塚線ミュージック駅伝 MOTI 特設サイト(URLは上記参照)	11月1日(金)から公開予定
OSAMUSHI JAZZ	宝塚市立手塚治虫記念館 1階エントランスホール	11月3日(日-祝) 1回目 13:00～13:30 2回目 15:00～15:30
とよMOB!	きたしん豊中広場特設ステージ (豊中駅前人工広場)	11月9日(土) ※終日
阪急電車に乗ってみのおの秋を感じようコンサート	箕面公園昆虫館 前	11月10日(日) 12:00～12:40
CoMOT! ～阪急宝塚線ミュージック駅伝 MOTI PRイベント～	阪急三番街北館B2Fステージ	11月10日(日) 16:00～16:30
胎教コンサートin中山寺	中山寺 寺務所前	11月21日(休) 1回目 11:30～12:10 2回目 13:00～13:40
スターバックスコーヒークリスマスライブ(仮)	スターバックスコーヒー ちゃやまちアプローズタワー店	12月2日(月) ※時間未定

阪急宝塚線 つなぐ 音楽駅伝



2019年7月26日付の読売新聞(写真左)、2019年7月30日付の毎日新聞(写真上)でMOTIが紹介されました

阪急宝塚線ミュージック駅伝MOTI! 記者会見を開催

「ホールの連携」 「学生主体」に メディアの関心高く

◎参加ホール【主体者50音順】

- 池田市民文化会館アゼリアホール(いけだ市民文化振興財団)
- ザ・カレッジ・オペラハウス(大阪音楽大学)
- 川西市みつなかホール(川西市文化・スポーツ振興財団)
- 常翔ホール(学校法人 常翔学園)
- 宝塚市立文化施設ベガ・ホール(宝塚市文化財団)
- 豊中市立文化芸術センター (豊中市市民ホール指定管理者)
- 箕面市立メイプルホール(箕面市メイプル文化財団)



記者会見に臨む大音関係者(左から中村孝義実行委員長、坂井威文学生リーダー、久保田テツCo専攻准教授)

7月16日(火)、ザ・カレッジ・オペラハウスロビーで在阪メディア向けにMOTI!の記者会見を開催しました。実行委員長の中村孝義理事長からMOTI!の概要と2020年の本イベントに向けた展望を、久保田テツCo専攻准教授から参加7ホールで実施されるイベントの内容などについて説明。学生リーダーの坂井威文さんも「専攻のレポートで阪急沿線の文化について調べ、宝塚線には小林一三が思い描いた文化都市が広がっていることを知ったなど、本企画に関わるきっかけとなったエピソードを交えて意気込みを語りました。出席した記者からは「各ホールをつなぐことによつて、観客にはどのような効果が考えられるか」「チケットの売り方などのような工夫をしているか」といった質問が相次ぎ、会見終了後も個別に質問する姿が見られるほどメディアの関心の高さがうかがえました。

会見に出席した記者からは「学生の間にこれだけ社会と密接につながる活動ができるのはとても貴重な経験。社会の方々の対話を通して、何が音楽に求められているかをしっかりキャッチして企画に生かしてほしい。ぜひ、卒業後も関西に残って地域を盛り上げる活動に携わってほしいと思います」と学生に対する期待の声も聞かれました。

03

第55回 オペラ公演「ディレクターズチョイス」シリーズ
V.ベッリーニ作曲 F.ロマーニ台本
「カプレーティとモンテッキ」



左から、制作統括の中村孝義(理事長、ザ・カレッジ・オペラハウス館長)、指揮の牧村邦彦(ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者)、ジュリエッタ役の林佑子、ロメオ役の橘知加子、ロレンツォ役の松森治、演出の岩田達宗(客員教授)

8月28日(水)ザ・カレッジ・オペラハウスロビーにて、オペラ公演の記者会見が行われました。「ディレクターズチョイス」シリーズ第3弾となる今回は、ベッリーニ作曲「カプレーティとモンテッキ」を取り上げます。創設30年となるザ・カレッジ・オペラハウスですが、ベルカント・オペラを取り上げるのは今回が初めて。演出の岩田達宗に指揮の牧村邦彦、キャストには海外で研さんを積み、オペラハウス初登場の新人である林佑子と矢野勇志、そしてオペラハウスではおなじみの中堅、橘知加子、迎撃聡、松森治という布陣で満を持して取り組みます。演出の岩田氏は「ロメオとジュリエッタ二人だけではなく、家族全

体の物語。ベルカントを用いてベッリーニが描こうとした本来のロメオとジュリエッタの物語を現代のお客様にわかっていただけるようにしたい。このオペラのパッションとエモーションを伝えたい」と意気込みを語った。また指揮の牧村氏は「ベッリーニの真骨頂はメロディーラインの美しさ。オーケストラの伴奏は非常に単純だが、それをいかに美しく奏でるかにかかっている。長年一緒に演奏してきたザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団。他のオーケストラでは経験できないベッリーニをご期待いただきたい」と語る。ザ・カレッジ・オペラハウスで初めてのベルカント・オペラ。どうぞご期待ください。

11月1日(金) 14:00~
11月3日(日・祝) 14:00~

全2幕 原語(イタリア語)上演・字幕付
演奏時間:約2時間40分(休憩含む)
演出:岩田達宗
指揮:牧村邦彦
ロメオ:橘知加子/ジュリエッタ:林佑子
カペリョ:迎撃聡/テバルド:矢野勇志
ロレンツォ:松森治
管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
合唱:大阪音楽大学合唱団
一般7000円、シルバー(65歳以上)6000円、
高校生以下3000円(全指定席)

01

プロの現場で即戦力となる人材を育成
ミュージックコミュニケーション専攻(4年制) 2クラス新設

2020年4月、ミュージックコミュニケーション専攻に新たな2クラスが誕生します。1~2年次ではイベントの企画・運営、舞台芸術について学び、照明や音響等の技術も併せて習得。3年次から2クラスに分かれてより専門性を深めることで、現場で即戦力となり得る人材の育成を目指しています。



プロジェクトデザイン・クラス

企画を考え課題解決のプロセスをさまざまな視点から学び、企画の実践に必要な企画力、マネジメント力や、技術を身につけます。

【専門科目】プロジェクトデザイン演習:企業や行政、地域社会の人々と連携しながら音楽を中心としたプロジェクトを企画し、プレゼンテーションやスケジュールを検討していく。また、プロジェクトの実施に伴う出演者・関係者との打ち合わせや当日のスケジュール表、報告書の作成などについて実践を通して学びます。

【新規必修科目】劇場技術演習:照明および音響の技術を、機材を活用しながら学びます。また、さまざまなジャンルの技術プランニングについても学ぶことで、劇場技術について専門的な知識を習得できます。

「音楽を通じた場」で社会との関わりを学び、プロジェクトを実践的に体験できることがミュージックコミュニケーション専攻の何よりの魅力です。ここで得られる「対話を通して物事を実現できる力」は音楽産業だけでなくどんな仕事にも役立つ汎用性の高いスキルにつながります。
本専攻で、音楽から広がる企画を実現させて新たなコミュニケーションのカタチを創造してみませんか?



舞台マネジメント・クラス

舞台芸術の世界で必要とされる舞台、照明、音響等の機能や技術について広く深く理解するために、大学の施設を活用し、実践的な授業を行います。

【専門科目】舞台マネジメント演習:舞台芸術を形成するすべてのファクターがそろっている環境を生かし、プロジェクトのアイデアやそれを制作していく技術力、調整力を身につけていきます。スケジュール管理、舞台・照明・音響の演出プランニングなど、本番に至るまでのプロセスを学びます。

02



関西圏で初の
ドア下ステッカー広告!
山陽電車で大音をPR

2020年4月より、ミュージックコミュニケーション専攻に上記の2クラス、短期大学部に「ヴォーカルパフォーマンス・コース」「ポピュラーインストゥルメント・コース」「作曲デザイン・コース」を新設するにあたり、2019年9月1日~2020年8月31日の1年間、山陽電車の車両ドアにステッカー広告を掲示しています。山陽電車をご利用の際は、ぜひ注目してみてください!

08



**コカ・コーラ ボトラーズ
ジャパン(株)から
非常時災害用備蓄水の寄贈**

この度、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社から、非常時災害時用備蓄水として「森の水だより 大江山麓の水」200ケース(1ケース=2リットル×6本。賞味期限=2021年3月)を寄贈していただきました。E号館1階倉庫に50ケース、P号館1階北側ポンプ室に40ケース、K号館1階北側倉庫に30ケース、そして豊南寮(A棟1階)に80ケース保管しています。これらの水は、非常時や災害時に飲料用などの目的で活用されます。

**2020年度
大学・短大推薦入学試験**

出願期間：2019年10月25日(金)～
11月6日(水) ※消印有効
試験日程：2019年11月20日(水)～
11月22日(金)

詳細は2020年度入学試験要項をご確認ください。

07

キラリ★輝く大音の星

各種コンクールで受賞された皆さん。



貝塚 理江
(11年度大卒・ユーフォニアム)
2019 International Tuba-Euphonium Conference Competitions
ユーフォニアムアーティスト部門
第2位

≫2019年5月30日
University of Iowa



中野 琢斗
(大2・ピアノ)
第5回 豊中音楽コンクール
ピアノ部門
大学・一般の部
第3位

≫2019年6月30日
ザ・カレッジ・オペラハウス



宮本 ありさ
(短専・ピアノ)
KOSMA
ピアノコンクール
ピアノ部門
音楽専攻の部
銅賞

≫2019年7月15日
ザ・フェニクスホール



大野 綾子
(活動名:NOA)
(04年度短専修・ボーカル)
全国コスベルコンテスト
2019年度コスベル甲子園
ボーカル部門
最優秀賞

≫2019年8月11日
神奈川県民ホール



池田 留位
(大3・ホルン)
第22回長江杯
国際音楽コンクール
管楽器部門
大学の部
第2位

≫2019年8月18日
ピッコロシアター



中川 裕子
(92年度大卒・ピアノ)
第13回
全日本芸術コンクール
ピアノ部門
大学生・一般の部
第2位(1位なし)

≫2019年8月22日
府中の森芸術劇場ウィーンホール



井谷 珠綺
(大3・ヴァイオリン)
第14回パッパホール
音楽コンクール
ヴァイオリン部門
一般の部
金賞

≫2019年8月24日
パッパホール

受賞された皆さん、
おめでとうございます!

04



**飯森範親氏を指揮に迎え
大阪音楽大学
第62回定期演奏会**

12月6日(金)第62回大阪音楽大学定期演奏会がザ・シンフォニーホールにて開催されます。指揮には、国内外で数多くのオーケストラの指揮や音楽監督を歴任されてきた飯森範親氏をお迎えし、J.ラター「マニフィカート」、G.マーラー「交響曲第1番 二長調「巨人」」の2曲をお送りします。「マニフィカート」のソプラノ独唱は本学の石橋栄実教授。ソプラノ独唱と合唱団のかけあい、管弦楽の華々しい響きをぜひお楽しみください。

05



**企画展示
「西洋音楽とKIMONO」
メディアセンター 楽器資料館**

本学楽器資料館では、「西洋音楽とKIMONO」と題した企画展示を行っています。大正から昭和初期にかけて出版された、竹久夢二画などの表紙デザインの「セノオ楽譜」や、校史資料から本学黎明期の着物の学生たちの写真、また、ザ・カレッジ・オペラハウス公演から團伊玖磨作曲「夕鶴」(1993年)とブッチーニ作曲「蝶々夫人」(1995年)の着物姿が美しい舞台写真を展示しています。この企画は、関西圏18の大学ミュージアムネットワークの「関西における文化遺産 衣と生活 KIMONO and LIFE」を統一テーマに、9校が参加する連携展示です。

9月7日(土)～10月28日(月)まで。月・土曜は、一般公開しています。

06

NEW RELEASE 大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜など。



CD

川端 裕美 **大西 洋二郎**
(97年度短大卒・フルート) (2006年度短大専修、ギター)

TENRAI一風の詩一

2700円(税抜) StudioN.A.T
Amazon、タワーレコード



CD

加藤 哲子
(2000年度大卒・ピアノ)

**歌とピアノのための
フォークソング・アレンジメント**

3000円(税込) © SARU international music
<http://musicamitterweg.ch/jp>



CD

河村 英樹
(講師・ジャズサクソフォーン)

PLAYS BALLADS

2750円(税込) タイムマシンレコード
amazon、山野楽器、全国主要CD店
<http://hideki-kawamura.sakura.ne.jp/> 他

※消費税増税に伴い、価格が変更になっている場合があります。

編集後記

今回の特集は、阪急宝塚線ミュージック駅伝MOT!を取り上げました。阪急宝塚線沿線にあるコンサートホールが一つのテーマに沿ってリレーコンサートをするという、これまでにない企画。主体となっているミュージックコミュニケーション専攻生は、この大きなイベントを成功させるために、奮闘しています。学生のうちに、こんな経験ができると、きっと卒業後にも大きな力になりますね。フリンジイベントでは珍しい企画も多数あり、普段クラシックを聴かない方も楽しんでいただけるはず。阪急宝塚線ミュージック駅伝MOT!ご期待ください!!